

第4回中野区子ども・子育て会議（第6期） 議事録

【日時】

2024年8月22日（木） 18時30分～20時30分

【場所】

区役所7階 701・702会議室

【出席者】

（1）出席委員 13名

寺田会長、和泉副会長、萩原委員、関委員、森委員、中野委員、三次委員、佐藤委員、宮内委員、小田委員、大隅委員、高橋委員、中尾委員

（2）事務局 15名

子ども家庭支援担当部長

子ども教育部課長 7名

地域支えあい推進部課長 2名

健康福祉部課長 1名

子ども・教育政策課子ども政策調整係 4名

【会議次第】

1 開会

2 議題

（1）多世代共生に向けた公園づくり（萩原委員によるご講演）

（2）中野区子ども総合計画令和5年度事業実績（案）について

（中野区子どもの権利委員会からの報告含む）

（3）中野区子ども・子育て支援事業計画第3期策定に向けたグループディスカッション

3 その他

4 閉会

【配付資料】

資料1-1 都市における思春期年代の居場所と公園の意味

資料1-2 ①子どもの居場所に関する調査報告書

資料1-2 ②【別冊】公園をめぐる子どもたちの意見

資料3 中野区子ども・子育て支援事業計画第3期策定に向けた

グループディスカッション

【参考資料1】 第6期中野区子ども・子育て会議スケジュール（令和6年度）

【参考資料2】 委員名簿（第6期）

午後6時30分開会

事務局（子ども政策調整係長）

では、会議の開催に先立ちまして、事務局からご報告をさせていただきます。

本日は、13名の委員の皆様にご出席をいただいております。阿部委員と松田委員が欠席となっております。委員の過半数の方にご出席いただいておりますので、会議は有効に成立しております。

ここで1点事務局から紹介させていただきます。7月に区のほうで幹部職員の異動がございましたので、紹介させていただきます。

《幹部職員の異動について説明》

事務局（子ども政策調整係長）

どうぞよろしくお願いいたします。

また、本日もペーパーレスでの実施とさせていただきます。お手元のPC等につきまして、何か不具合とか、ご不明な点等がございましたら、お近くの職員のほうにお声がけいただければと思います。

それでは、寺田会長のほうに進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

寺田会長

皆様、こんばんは。遅くなって大変申し訳ございませんでした。

それでは、これより第6期第4回中野区子ども・子育て会議を開催いたします。

皆様におかれましては、お忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の議題は3件となっております。

それでは、議題第1、多世代共生に向けた公園づくりについて、萩原委員からご講演いただくにあたり、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局（子ども政策担当課長）

前回子ども・子育て会議の中で、令和5年度に実施した子ども・子育てアンケートの調査結果において、子どもの放課後の居場所に関するニーズが多くあるということをご報告させていただきました。区では、かねてから子どもが思い切り外で体を動かして遊ぶことができる公園が少ないというような声をよく聞いているところです。このことと関わりまして、萩原委員が以前、総務省からの依頼で、子どもの居場所としての公園調査を実施したと前回会議終了後に情報提供いただきました。ですので、今回は、萩原委員より、子どもや近隣住民、他の利用者など、多世代にとっての公園の重要性や役割について、ご講演いただき、今後の区の実施の参考に生かしていきたいと考えております。

それでは、萩原委員、お願いいたします。

萩原委員

《資料1-1、資料1-2①②について萩原委員によるご講演》

寺田会長

ありがとうございました。たくさん資料もご提示いただきながら、大変分かりやすかったと思っています。萩原先生のご講演について、ご意見ご質問などございますか。高橋さん、どうぞ。

高橋委員

ご講演ありがとうございました。委員の高橋と申します。

萩原先生というか、委員のご講演を聞いて、中野区はどうなのだろうということをちょっと単純に疑問に思ったのですけれども。ここではあまり。事務局のほうには質問はしないほうがよろしいですか。

先生に対してということですね。ありがとうございます。

私は、本当は、中野区はどうなのだろうということを聞きたかったのは、今回、私の発見としては、「過ごしにくい」という回答の中に、物理的な問題であったり、公園環境管理問題という、大きく分けて二つがあるということがあったので、中野区としては、区民からどんな声が挙がっているのだろうなということを疑問に思ったり。あとは、今回、やはりボール遊びということが、結構ニーズとしてあるのだなということを学んだので、これも中野区の場合、何か所中何か所、使えるのかなと思ったり。

あともう一つは、これは萩原委員にももしお聞きできればと思うのですけれども、228 ページというふうに振られているところの(1)のところで、いろいろな思春期年代の意見があるのですけれども、私になるほどなと思ったのは、下から2行目のところで、「その公園を、どの年代がよく使うかどうか」という、「公園の状態（を見てから決める）」というのは、なるほどなと思ったのですが、これ、結構物理的に難しいなというものも、一方で考えるのですけれども、これは可能なものなのでしょうか。こういった調査をするということは、物理的に実際に可能なのでしょうか。

萩原委員

それを、具体的に可能かどうかを議論として詰めていくかどうかは、やっぱりそこは、大人も一緒になって、「じゃあ、実際はどうしようかね」というふうに、多少下駄をはかせてあげながら子どもと一緒に、話し合うことが大切ですね。例えば児童館職員さんとか、プレーパークのリーダーさんとかが間に入って、代弁者（そういうのをアドボケートと言います）になって、子どもたちの言葉としては不十分な部分を第三の大人が補ってあげながら、一緒になって会議で話し合ったらいいのではないかなと思うのですね。個別具体的なアイデアに対しては、そういうようなワンクッションおきながら、議論を詰めていったほうがいいのだろうというふうには思います。

高橋委員

ありがとうございます。せっかくなのでもう1点だけ。今回のご講演で、やはり思春期年代を含めたこういうティーンの意見というものを、公園の運営や行政に反映することの大切さを私自身も学ばせていただいたのですが、中野区は、そういったハイティーン会議などの存在もある中で、ほかの区などで、実際にそういう思春期年代も入った上で、公園の運営や改善に努めているような区というのは、実際に存在するのでしょうか。

萩原委員

今、そういった子どもたちの意見を反映させながら、公園ルールを緩和しようという自治体は幾つか出てきています。千葉県船橋市では中学生の意見を聞いて、ボール遊びができる公園づくりをした事例があります。ちょっと今すぐに正確な情報を出せないのですけれども、関西のほうでもそういうようなことがあって。私もそれで毎日新聞社から取材を受けて、新聞社のほうでその辺の事例は調べて記事にしていましたけれども、そういった自治体の動きは出てきています。

高橋委員

分かりました。ありがとうございました。

寺田会長

ありがとうございました。ほかに、ご意見ご質問ありますでしょうか。大丈夫でしょうか。

本日は議題もたくさんございますので、それでは、次にまいりたいと思います。

それでは、議題(2)、中野区子ども総合計画令和5年度事業実績（案）について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局（子ども政策担当課長）

《資料2について説明》

中野区子ども総合計画の昨年度事業実績について、中野区子どもの権利委員会という別の附属機関がありまして、そちらが、子どもの権利の視点によって、それぞれの事業について、評価・検証するという仕組みが新しく入りました。

本日、中野区子どもの権利委員会の内田会長にいらしていただいておりますので、内田会長よりご説明いただきたいと思います。

中野区子どもの権利委員会（内田会長）

《資料2（子どもの権利の視点での自己評価）について説明》

寺田会長

内田先生、どうもありがとうございました。ただいまの議題について、ご意見、ご質問などございますでしょうか。

事務局（子ども政策担当課長）

今回のこのシート全体を見ていただいて、特に気になるところとか、もしお気づきのところがあれば、ご指摘いただければなと思います。

先ほど、高橋委員からご指摘というか、ご質問いただいた公園整備のところについては、こちらのPDFファイルの資料2の10ページのところに取組が記載してありまして、PDFファイルの10ページ目の一番下の「公園再整備」という項目になります。こちら、計画の中で、時代やニーズの変化に対応し、あらゆる世代のだれもが利用しやすい魅力的な公園を整備すると。整備にあたっては、子どもの意見を取り入れた幼児用トイレや幼児用遊具の検討を行いますというのが計画に記載されていた内容になりまして、これに対して、令和5年度の事業実績としましては、この子どもの権利の視点での項目のところを見てい

ただきますと、まずその周知としては、(1)としましては、ホームページや現地での意見募集に加え、近隣の小学校等で周知をしたり、アンケートを実施したということや、あとは子どもにも分かりやすいように、アンケートや資料にルビを付したというところ。近隣の小学校での出張授業で、自分たちのつくりたい公園を話し合ってもらったりということで、区の計画にも興味を持ってもらえたというところを記載しているところになります。

区の、今の、子どもに対する公園の使い勝手の改善というところにつきましては、こういった公園の再整備で、公園自体を改修していくときに、子どもの意見も取り入れながら改修していくということと、利用ルールについては、これは昨年ではなくて一昨年ぐらいですか。利用ルールを少し緩和するというような取組がありまして、例えば自転車の乗入れが禁止の公園が多いのですけれども、自転車の練習で乗り入れるのはOKにするとか、あとボール遊びというのも禁止になっていたところを、やわらかいボールで、1人でリフティングしたり、トス上げしたりする分については緩和するとか、そういった利用ルールの緩和というのを徐々にやってきているというところが、区の取組としてはあります。

以上、補足説明でした。

寺田会長

ありがとうございました。ただいまの補足説明も含めて、何かご意見なり、ご質問はありませんか。せっかくこちらに会長がいらっしゃるの。萩原先生、お願いします。

萩原委員

先ほどの話とつながるのですけれども、やはり公園の再整備は、今後の課題として、乳幼児だけではなくて、あるいは小学校の低学年だけではなくて、やっぱり中高学年、あるいは中学生も含めたティーンズの子たちの意見もぜひ、今後はアンケート等でとっていただいたほうがいいかなという。これは一つの意見、要望になります。

ちなみに、トイレについては、子どもたちからも、やはりきれいなトイレは安心すること、今回の調査でもはっきり出たところになります。

あと、不審者。公園がやっぱりきれいでないと、不審者が出るのではないかという不安が高いというのも、これも、アンケートで出ました。参考までに。

寺田会長

ありがとうございました。ほかに何かご意見ご質問はございますか。よろしいでしょうか。内田委員長、お願いします。

子どもの権利委員会会長（内田会長）

先ほど中野区の状況はどうなのかという質問があったところで、我々も、中野区子どもの権利委員会の最終答申の中に、そのときの一番最新の中野区全体にかけた実態調査から、子どもの自由記述の内容を全て分類し直して、子どもの意見としてどういう意見が出ているかというのをまとめたものがあるのです。その中に、公園に関する意見がものすごく多くて、例えば本当に、先ほど萩原先生がお話しになっていた内容については、中野区の子どもたちの意見からも、ほぼ全てとっていいと思います、聞かれていましたし、あるいは、今思い出すのでも、例えば雨天のときの居場所がないとか、雨になっても屋内で遊べる場所がないとか、いろいろそういう切実な意見がありました。

そういった意見を知っていただきたいと思って、何とか分類してまとめたものがあります。「中野区子どもの権利委員会第1期の最終答申」という報告書がありますので、その中の前半部分に、実態調査の内容から、子どもの居場所に関することをまとめたものがあるので、もしよろしかったら、ぜひご覧ください。

事務局（子ども政策担当課長）

その資料につきましては、メールでまた後日、委員の皆様にご共有させていただければと思います。ありがとうございます。

寺田会長

とても参考になるご意見と、それから皆さんに共有できるということは、すごく素晴らしいことですね。ありがとうございました。

それでは、よろしいでしょうかね。

では、次の議題に移ります。議題(3)、中野区子ども・子育て支援事業計画第3期策定に向けたグループディスカッションについて、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局（子ども政策調整係長）

《資料3について説明》

《グループディスカッション開始》

事務局（子ども政策調整係長）

では、それぞれのグループで白熱した討議が繰り広げられたというふうに見ておりました。そうしましたら、会長のところ、グループのAのところからいきたいと思います。3分程度でお願いできればと思います。

(Aグループ)

では、Aグループのほうで発表させていただきます。

まず、利用に関する課題というところで、こちらのほうは本当に様々ご意見をいただきました。具体的に事業名も出していただいて、こういった事業のこういうところかというお話もあったのですが、まとめさせていただきますと、一つはやはり手続のところ、まず煩雑なものがあったり、毎回更新を、確認を求められるようなものがあったりといったところで、手続の部分で、様々課題があるのではないかと。

あと、意見としてありましたのは、やはり区で様々サービスを実施しているのですけれども、こういったサービスが、こういったときに活用できるのか。周知の部分もありますし、そういったことを相談できるところ、そういったところのやはり充実が求められるのではないかとこのところ。

それからあとは、そういった行政としての部分というところ以外にも、やはり地域のつながりといいますか。例えば子育て世代同士、そういったことについて、相談ができたり、互いに助け合ったり、そういったつながりというのをやはりもっと深めていくような方策があればというところで、こういったご意見もいただいたところでございます。

具体的な改善策というところまでは、正直そこまでは議論がなかなかできなかったところもあるのですけれども、今挙げさせていただいた課題についての解決する方策というところ、やはりこれから区としても取り組んでいく必要があるというふうに、A班のほうではこういったご意見をいただいたというところでございます。発表は以上です。

事務局（子ども政策調整係長）

では、Bのほうですね。和泉副会長のところになります。よろしくお願いします。

(Bグループ)

B班のところで、発表します。課題と改善につながる方策とかそういった部分については、ほぼ一体のような形で、意見を出し合うような形で進めてまいりました。

やはり萩原先生のご講演もあって、公園に関する課題については、皆さん、大きな共通の認識を持った中で、こういった形で、公園の違うニーズを持った世代層があって、当然子どもたちの意見も聞かなければいけないのだけれども、一方で、高齢者の居場所という部分もあり、また乳幼児を連れている方、あるいは午前中は保育園の利用者の方も多いですし、そういったニーズをどう酌み取って、一つのルールづくりをしていくのかというところの難しさはあるのだろうと。

また、「プレーパークを北部に」というご意見も強く、となりました。

あと、ボールなんかの、バットなんかの、使える公園というのは非常に大事なので、どう確保していくのかということについて、本当に重要だなというところでした。

また、学童放課後についても、やはりキッズ・プラザ、学童というものは、まず利用ニーズを満たすというところから来ているのだけれども、例えば放課後子ども教室事業というのが推進されているようには思えないというところ。また、活発にやられている学校もあるのだけれども、施設整備が先になってしまっている、改築などが先になってしまっているのではないかとというところ。そこをどう改善できるかということに関して、やはり区民の協力者をどういうふうに募集していくのか、地域にちゃんと相談してくれと、そういうご意見もありました。

中高生に関してなのですけれども、やはり子ども・子育て支援事業というのが、未就学児向けに偏っていて、小中高生向けが少ないと、そういうご意見もありました。この会議、長らく私もやってきて、やはり待機児童対策であるとか、乳幼児の支援といったところに、どうしても偏りがちというか。

一方で、所管の違いといいますか、この会議体が扱っている部分で、学校とか、教育とか、そういったところに関しては、やはり教育委員会とか、そういった方向になっていて、我々のところから離れてしまう。また、中高生に関しては区立中学に進学する子というのが、小学校から中学校にかけてやはり減ってしまう部分と、一方で、私立の中高生が中野区に来ているという側面と両方考えたときに、どういうふうに居場所づくりをしていくのか。実例として、東中野図書館というものが、今、宝仙の子たちに占拠されていると。区立中の子たちは、制服のまま行けないとご指摘がありまして。それは、区立中が改善すべきところ、制服でも行けるようにしたりすることはできるのではないかとということもあります。中高生の居場所づくりを早くしてくれという話もあります。

そして、情報提供の方法として、この会議体でもそうですが、ペーパーレスを進めるあまり、やはり子育て中の親子がすぐ手にとれるチラシとか、それは区内で活動する民間の団体もそうですけれども、そういったチラシという形でパッと手にとれるような媒体というのはやっぱり忘れてはいけないところがあって、ホームページなんかを使った情報提供もそうなのですが、一方で、そういう、すこやかであったり、あるいは児童館であったりといった場所で、手にとれるチラシというのをやはり尊重してほしいと、そういうご意見もありました。

ということで、雑多に広くまたがるような話で、個別事業だけではなくて、全体としてそういった形で改善ができるのではないかという意見でございます。以上です。

事務局（子ども政策調整係長）

ありがとうございました。最後、Cグループですね。お願いいたします。

（Cグループ）

ちょっと見えるか分からないのですけれども、Cグループは、まず全般の問題として、先ほどのBグループから挙がりましたけれども、情報発信の問題ですね。実は、サービスを届けたい人に届いていないのではないかと。実は、結構使っている、制度をうまく使いこなしている方は、結局、そんなに困っていないというか。うまく使いこなせるだけのスキルもある。だから、逆に、本当に届けたい人にどうやって届けたいのか大きな課題であるということ。それと関わって、その事業の名称が分かりにくい。一つ一つの事業の名称がちょっと分かりにくいのではないかと、そういう指摘も出ていました。だからこそ、利用者もどうやって、これはどういうためのサービスなのかが分かりにくいということにもつながっていきそうということですね。

あとは、情報発信の方法として、こんにちは赤ちゃん訪問のときに、全戸訪問をしながらいろいろと情報をそのときに紙で渡すのだけれども、膨大な量だと。膨大過ぎて、何が何だか分からないのではないかという、逆に、受け渡す情報量が多過ぎてしまって、結果、どうしていいか分からないという、実はそういうジレンマみたいなものも生じているということ。それに対して、申請全般に対してなのですけれども、何か区の公式LINEなどを使って、ここをプラットフォームで一本化したらどうか。保護者目線からすると、そういうほうがいいのではないかという指摘もありました。

あと、多かったのは、キッズ・プラザ、放課後子ども教室とか、学童クラブとかについての課題も、多く寄せられています。やっぱり部屋が狭くて、非常に密度が高い状態であったりとか、あるいは、静かに過ごしたい子もいれば、にぎやかに過ごしたい子もいるし、子どもの過ごし方は多様なので、その多様さにハードも追いついていないというような問題であるとか、あるいは、小学校内でというふうに限定されてしまうと、やっぱり1日中、放課後まで人間関係をずっとそのまま引きずっていく。それがいい子どもたちもいるのだけれども、リセットできなくて困ってしまう子どもたちもいるのではないかという問題指摘があって、それに対して、児童館であるとか、先ほど出た公園であるとか、いろいろな放課後の子どもの居場所を選択できるように。そのときそのときに選択できるように、居

場所を多様化するという必要があるのではないかという指摘が出てきました。

あとは、保護者にとっても、社会復帰であるとか、保護者自身の居場所であるとか、やはり、とりわけ乳幼児を抱える親子が社会的に孤立しないような、やはり気軽に立ち寄れるような複数の居場所みたいなものも大事なのではないかという視点から、幾つか指摘がありました。

あとはちょっと何か、補足をいただいてもよろしいですか。何か言えていないところがあれば。大丈夫ですか。以上です。

事務局（子ども政策調整係長）

ありがとうございました。それぞれのグループから、大変有益なご意見をいただけたかと思ってございます。

寺田会長、最後に、まとめをお願いできればと思います。

寺田会長

今日は、3グループに分かれて、そしてテーマをある程度いただきながら、今の現状と課題と、そしてそれに対する何か方法は、どんなことがあるのだろうかということを行政の方と、それぞれ皆さん代表の委員の方と、こういった小グループに分かれて話し合いができたということは、とてもすばらしいことなのではないかというふうに思います。

そして、傍聴の方には、そこから本当に傍聴していただくという形になったのですけれども、でも、このそれぞれの3グループの皆さんの白熱した様子であるだとか、そういうことも感じていただけたのではないかと思います。

それで、ここは中野区の子ども・子育て会議ですよ。中野区が、本当にここで生まれ育ってよかったと、中野区に住んでいる子どもたちがここで生まれ育ってよかった。もちろんこれは日本とか世界に広められたらいいのですけれども、ここに、本当に中野区で住み続けたいとか、また結婚しても中野に帰ってきて、中野で子どもを育てたいというような、そういう社会をどうやったらつくっていただけるだろうということが、私はこの中野子ども・子育て会議だと思っているのです。

ですので、本当に毎年毎年すごくブラッシュアップしてきていて、すばらしい会議になっているのではないかなというふうに感じますし、ホームページも、ものすごく変わったのを皆さんご存じですか。区報も、ものすごく変わりましたよね。ホームページもすごく見やすくなってきているのです。ですから、それは皆様それぞれにいただいたご意見であるとか、それを受け止めていただいた行政の皆様の、その創意工夫ではないかなというふ

うに思います。

ですので、このような会議がありましたことに対して、どうぞ皆様は、それぞれ地元の代表でいらっしゃるから、これを、この地域の中で、育てやすさ、過ごしやすさをみんなで享受していこうというような、そういうような報告をぜひしていただきたいなというふうに思います。

本当に有意義な会議だったと思います。ご参加いただいた皆様、傍聴いただいた皆様、どうもありがとうございました。

それでは、最後に、次回の日程について事務局からお願いいたします。

事務局（子ども政策調整係長）

では、事務局のほうから、次回日程とその他について、ご案内させていただきます。

何点か情報提供をさせていただきたいことがございます。

まず1点目、お手元のほうにチラシをお配りさせていただいたものになるのですが、**「中野チルナイトピクニック」**ということで、実は今日から始まっております。そちらの四季の森公園で、セントラルパークイーストのビルのほうに映画を映して、プロジェクションマッピングというような形で実施しているものでございます。実際に19時から、夜の7時から、映像等が流れまして、夜の9時までというところになっています。今日はもうこの時間なので最後、見られるかどうかというところなのですが、明日、あさってでも実施を予定しておりますので、ぜひ、中野にお越しの際は、また目がけて来ていただいてもですし、よろしくお願いします。

子どもに権利に関する、一応、スペシャルムービーということで、中野を代表する中川翔子さんがナレーターとして読み上げて、子どもの権利について少し語るというような映像が冒頭に入るところがありますので、そういった仕掛けもぜひ楽しんでいただければと思います。

もう1点が、**「外遊びがもつチカラ」**というふうにしたチラシになります。こちらは、今週の日曜日なのでございますけれども、中野区が取組を進めているプレーパークに関して、こちらについての講演会になってございます。子どもが自発的に遊ぶことの重要性ですとか、そういったものを講師の方から説明いただくというところなんです。実際の講師の中川さんは、練馬区のこどもの森というプレーパークを運営している団体の理事というところがございます。中野区のほうでも、今年度、試行のプレーパークを経て、来年度に常設のものを開設していくというようなところを計画上掲げており、進めているところです。ですので、

こういったところへの参加等々も、なかなか、今のタイミングからというのは難しいかもしれないですけれども、ぜひご検討いただければと思い、周知させていただきました。期限が過ぎても当日観覧も可能ですので、もしお近くに、興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご周知いただければと思います。

次回日程についてということでございますけれども、次回は、11月12日火曜日開催の予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、会長、事務連絡は以上でございます。

寺田会長

ありがとうございました。

それでは、第6期第4回中野区子ども・子育て会議を終了いたします。

皆様、本日はありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

午後8時33分終了